

## 別記様式 4

# 「市立幼稚園の3年保育の実施と適正配置について（案）」に関する パブリックコメント手続の結果

意見の募集期間	平成28年8月16日～平成28年9月15日
意見の提出者数	27人
意見の件数	68件
意見の要旨の数	42件
担当部課	教育部 総務課
電話	0270-24-5111（内線2437）
ファックス	0270-24-9668
電子メール	k-soumu@city.isesaki.lg.jp

市立幼稚園の3年保育の実施と適正配置について（案）に関するパブリックコメント手続（市民意見提出手続）を、平成28年8月16日から平成28年9月15日まで実施し、27人の方から68件のご意見・ご提案をいただきました。

お寄せいただいたご意見等の要旨を分類すると42件となり、それぞれに対する市教育委員会の考え方を添えて公表いたします。

寄せられたご意見等の要旨とそれに対する市教育委員会の考え方について次のとおり公表いたします。

### 1 「モデル園での3年保育の先行実施」についての意見等

番号	意見等の要旨	意見等に対する市教育委員会の考え方
1	モデル園での実施は3歳児の様子や保育を模索する上で必要と考える。	試行的な3年保育の実施の必要性を検討委員会に報告し、再検討された提言に基づき、適切に対応してまいりたいと考えております。
2	モデル園での成果により判断するのであれば、最初から全ての園で3年保育を実施するか、しないかはっきりしたほうが良い。	試行的な3年保育実施の可否を検討委員会へ報告し、再検討された提言に基づき、適切に対応してまいりたいと考えております。
3	私立幼稚園は5月頃から説明会や見学会など募集準備を進めているが、市立幼稚園は9月現在で募集概要を示せないのでは、3年保育を選択する家庭は少ないと思う。時期を早めて対応すべきであった。	ご指摘の内容を検討委員会に報告し、再検討された提言に基づき、速やかに園児募集に係る事務を実施してまいりたいと考えております。
4	1学級20人で3園での先行実施では、希望者の多くが入園できないことから、他の施設に流れ、就園ニーズを把握できなくなる。	園児募集の際、希望者の居住地を把握できる旨を検討委員会へ報告し、再検討された提言に基づき、適切に対応してまいりたいと考えております。
5	第一幼稚園で3年保育を実施してほしい。 （同趣旨の意見等4件） ・第一幼稚園は創立が古く伝統があるため、昔から住む地域の方々の協力を得やすく、近隣に	要望として検討委員会へ報告し、再検討された提言に基づき、適切に対応してまいりたいと考えております。

## 別記様式 4

	<p>小学校、図書館などがあり連携しやすいため。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・兄弟で行事等が重ならないように、3歳になる弟を同じ第一幼稚園に通わせたいため。</li> </ul>	
6	<p>過去に近隣の坂東幼稚園が閉園となった経緯を踏まえ、就園規模だけでなく子育て環境の平等化という観点で、豊受幼稚園を3年保育のモデル園に指定してほしい。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・3歳児受け入れに当たっては、施設面でも問題なく、3年保育が実施されれば潜在的就園児の一定数の獲得につながり、幼稚園の再発展が期待できるため。</li> </ul>	<p>要望として検討委員会へ報告し、再検討された提言に基づき、適切に対応してまいりたいと考えております。</p>
7	<p>入園希望者の多い宮郷幼稚園などで早く3年保育を実施してほしい。</p>	<p>要望として検討委員会へ報告し、再検討された提言に基づき、適切に対応してまいりたいと考えております。</p>
8	<p>あかぼり幼稚園を3年保育にしてほしい。 (同趣旨の意見等4件)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・赤堀地区には私立幼稚園がなく、3年保育を受ける場合、他地区の幼稚園に入園しなければならず、小学校に入学の際、顔見知りがいなくなってしまうため。</li> <li>・通い慣れている幼稚園であり、わずかな時間でも働き経済的な余裕を確保したいため。</li> </ul>	<p>要望として検討委員会へ報告し、再検討された提言に基づき、適切に対応してまいりたいと考えております。</p>
9	<p>新制度の開始により幼稚園の保育料が統一されるため、市立幼稚園の3年保育を検討するのであれば、運営コストの面でも公私間の差をなくすことが必要である。</p> <p>国で定めた公定価格により運営を行うことが公私間の格差をなくす合理的な方法であるが、これによらない場合、私立より高い市民負担を強いて公立で幼稚園を運営する合理的な理由を市民に説明する責任がある。</p> <p>(同趣旨の意見等1件)</p>	<p>公私間の運営コスト面での格差などの問題を検討委員会へ報告し、再検討された提言に基づき、適切に対応してまいりたいと考えております。</p>
10	<p>市立幼稚園の3年保育の実施に反対する。 (同趣旨の意見等1件)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・行政改革の視点から公立保育所の民営化に比べ、市立幼稚園の統廃合は進んでいないため。</li> <li>・近年の園児数の減少傾向、園児数が極端に少ない園が複数あるため。</li> <li>・市立幼稚園は保育日数が少なく、保育時間が短いなど保護者ニーズに応えていないため。</li> <li>・異年齢での学級編制が認められているが、市立幼稚園では1学年1学級で、わずか数名の園</li> </ul>	<p>3年保育の実施に反対する根拠を検討委員会へ報告し判断を仰ぎ、再検討された提言に基づき、対応してまいりたいと考えております。</p> <p>併せて、検討委員会では、アンケートの結果や庁内検討委員会の検討内容を踏まえて検討していただき、さらに、市立幼稚園の運営に際しては、最小の経費で最大の効果が得られるよう努めてまいりたいと考えております。</p>

## 別記様式 4

	<p>児に対して1名教諭を配置し、公私間で格差が生じているため。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・預かり保育専門職員や労務技士の配置など、私立施設では正規職員が対応していることに別途コストをかけているため。</li> </ul> <p>以上のことから、業務内容に公私間で差があると考えざるを得ない。しかし、公立幼稚園の正規職員の平均年収は私立施設よりも高額となっている。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・市民負担の大きい公立での3年保育の運営することの理由が説明されていないため。</li> <li>・新制度施行に伴い幼稚園の保育料が統一されるため、3年保育に移行するのならば、公定価格内で運営すべきである。</li> <li>・本市は県内12市で唯一3年保育を実施していないが、今まで幼児教育の需要と供給の数字上、何ら不都合は生じていないため。</li> <li>・本市の子ども・子育て支援事業計画上、3歳児に対する供給不足は見込まれておらず、市立幼稚園の3年保育の実施も位置づけられていないため。</li> <li>・3年保育実施に係るコストや他の施設への影響が全く検討されていないため。</li> </ul>	
1 1	<p>「地域的な就園ニーズの把握」について、なぜ、旧伊勢崎だけが狭い範囲で「地域的な就園ニーズ」を考える必要があるのか。本市の教育・保育の提供区域は1区域とされており、市立幼稚園の適正配置にあたっては、市内で考え方を統一するのが自然である。</p>	<p>ご指摘の内容を検討委員会へ報告し、再検討された提言に基づき適正配置の基準を設定し、適切に対応してまいりたいと考えております。</p> <p>地域的な就園ニーズは、今後の他園への3年保育の拡充、適正配置の検討、実施に対して十分考慮する必要があると考えております。</p>
1 2	<p>「適正な人員配置に努める。」について、私立施設に近い人員配置となるよう、可能な限り具体的な記述にすべきである。</p>	<p>具体的な記述の必要性を検討委員会へ報告し、再検討された提言に基づき、適切に対応してまいりたいと考えております。なお、4歳児支援員を配置している園もあるため、同様に3歳児支援員の配置が望ましいと考えております。</p>

## 2 「他園への3年保育の拡充」についての意見等

番号	意見等の要旨	
1	<p>市立幼稚園が3年保育へ移行することは賛成である。(同趣旨の意見等11件)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・3歳を過ぎると、自然と友達を求めるようになり、家庭で過ごすより、先生や友達と過ごす</li> </ul>	<p>3年保育への移行に賛成である根拠を検討委員会へ報告し判断を仰ぎ、再検討された提言に基づき、適切に対応してまいりたいと考えております。</p>

別記様式 4

番号	意見等の要旨	
	<p>ことで得るものの方が大きい。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・幼児期の心身発達が急速にできあがるこの時期（3歳）は、様々な体験等が必要になり、また、核家族化や地域交流が希薄になっており、住んでいる地域で育てることが難しいため。</li> <li>・他県、他市では3年保育がほとんどで、中には4年保育を実施しているところもあるため。</li> <li>・いろいろなことに興味を持つ時期なので、3年保育は子供にとって有意義であるため。</li> <li>・子供が先生や同世代の子供たちと関わり、協力することの大切さを学んでもらいたいため。</li> <li>・早いうちから様々な経験や集団生活を通して、友達との関わり方や、心身ともに自立する心の育ちが早くなると考えるため。</li> <li>・遊びから学ぶ教育を中心としている市立幼稚園の良さを継続してほしいため。</li> <li>・保育料が高くなることで、特徴のある私立幼稚園に子供が流れ、公立幼稚園がなくなってしまう恐れがあるため。</li> <li>・就学前の教育や保育の期間が長い方が、小学校入学までにできることが増えると思うため。</li> <li>・市財政への負担は大きいですが、誠実で心温かく勤勉な市民を育てる土台となるため。</li> <li>・3年保育を希望する保護者は多く、2年保育を理由に私立幼稚園を選択している現状があるため。</li> </ul>	<p>なお、3年保育の拡充に当たっては、地域の就園ニーズ等を十分検証し判断してまいりたいと考えております。また、市立幼稚園の運営に際しては、最小の経費で最大の効果が得られるよう努めてまいりたいと考えております。</p>
2	<p>3年保育の実施・拡充の検討をしてほしい。 (同趣旨の意見等1件)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・幼児期は人間形成の基礎を培う重要な時期なので、同年代の友達との関わりを持ち、生活することの楽しさ、主体性・社会性を身に付けていくことが必要であるため。</li> <li>・兄弟そろって幼稚園に通うことができる可能性が広がるため。</li> <li>・自立が芽生える頃に集団行動に慣れることで、成長が図られるため。</li> <li>・各園が今までよりも充実し、地域の活性化につながることを期待できるため。</li> </ul>	<p>3年保育の実施・拡充の検討を望む根拠を検討委員会へ報告し判断を仰ぎ、再検討された提言に基づき、適切に対応してまいりたいと考えております。</p>
3	<p>「3歳児の定員は、<u>原則として</u>1学級20人」とするべきである。就園ニーズが高い地域では1学級以上の設置が必要なケースが考え</p>	<p>弾力的な運用の必要性を検討委員会へ報告し、再検討された提言に基づき、適切に対応してまいりたいと考えております。</p>

## 別記様式 4

番号	意見等の要旨	
	られ、弾力的な運用をしてほしい。	
4	半年間で3年保育の成果を検証することが適切なのか。1年足らず（半年間）で3年保育の成果を検証することになるが、極めて重要な政策の検証の仕方として適当と言えるのか。	検証に要する適正期間を検討委員会へ報告し、再検討された提言に基づき、適切に対応してまいりたいと考えております。なお、短期間ではありますが、就園ニーズや地域事情等を十分に考慮することで検証可能であると考えております。
5	<p>他園への3年保育の拡充に反対する。 （同趣旨の意見等1件）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・市民負担の大きい公立で3年保育の運営することの理由が説明されていないため。</li> <li>・新制度施行に伴い幼稚園の保育料が統一されるため、3年保育に移行するのならば、公定価格内で運営すべきであるため。</li> <li>・本市は県内12市で唯一3年保育を実施していないが、今まで幼児教育の需要と供給の数字上、何ら不都合は生じていないため。</li> <li>・本市の子ども・子育て支援事業計画上、3歳児に対する供給不足は見込まれておらず、市立幼稚園の3年保育の実施も位置づけられていないため。</li> <li>・3年保育実施に係るコストや他の施設への影響が全く検討されていないため。</li> </ul>	<p>3年保育の拡充に反対である根拠を検討委員会へ報告し判断を仰ぎ、再検討された提言に基づき、適切に対応してまいりたいと考えております。</p> <p>併せて、検討委員会では、アンケートの結果や庁内検討委員会の検討内容を踏まえて検討していただき、さらに、市立幼稚園の運営に際しては、最小の経費で最大の効果が得られるよう努めてまいりたいと考えております。</p>
6	「適正な人員配置に努める。」について、私立施設に近い人員配置となるよう、可能な限り具体的な記述にすべきである。	具体的な記述の必要性を検討委員会へ報告し、再検討された提言に基づき、適切に対応してまいりたいと考えております。なお、4歳児支援員を配置している園もあるため、同様に3歳児支援員の配置が望ましいと考えております。
7	（4）は削除すべきである。地域的な就園ニーズは把握できているのであれば、3年保育に移行しないという判断は現時点でも可能で、平成30年度以降に統廃合の検討を留保する必要はない。	適正配置の検討については、平成30年度を待たずに現時点でも着手可能であることを検討委員会へ報告し、再検討された提言に基づき、適切に対応してまいりたいと考えております。

### 3 「適正配置の検討、実施（平成30年度以降）」についての意見等

番号	意見等の要旨	
1	<p>適正配置の検討・実施を着実に実行すべきである。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・行政改革の視点から公立保育所の民営化に比べ、市立幼稚園の統廃合は進んでいないため。</li> </ul>	適正配置の必要性を検討委員会へ報告し判断を仰ぎ、再検討された提言に基づき、実質的な就園希望者の状況の検証と併せて適正配置の基準を設定し、適切に対応してまいりたいと

## 別記様式 4

	<ul style="list-style-type: none"> <li>・近年の園児数の減少傾向、園児数が極端に少ない園が複数あるため。</li> <li>・市立幼稚園は保育日数が少なく、保育時間が短いなど保護者ニーズに応えていないため。</li> <li>・異年齢での学級編制が認められているが、市立幼稚園では1学年1学級で、わずか数名の園児に対して1名教諭を配置し、公私間で格差が生じているため。</li> <li>・預かり保育専門職員や労務技士の配置など、私立施設では正規職員が対応していることに別途コストをかけているため。</li> </ul> <p>以上のことから、業務内容に公私間で差があると考えざるを得ない。しかし、市立幼稚園の正規職員の平均年収は私立施設よりも高額となっている。</p>	<p>考えております。</p> <p>また、市立幼稚園の運営については、最小の経費で最大の効果が得られるよう努めてまいりたいと考えております。</p>
2	<p>「(平成30年度以降)」は削除すべきである。地域的な就園ニーズは把握できているのであれば、3年保育に移行しないという判断は現時点でも可能で、平成30年度以降に統廃合の検討を留保する必要はない。</p>	<p>適正配置の検討については、平成30年度を待たずに現時点でも着手可能であることを検討委員会へ報告し、再検討された提言に基づき、適切に対応してまいりたいと考えております。</p>
3	<p>極端に園児数の少ない園は統廃合もやむを得ないと思う。(同趣旨の意見等3件)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・3年保育を実施することで多くの経費もかかるため。</li> <li>・各園の園児を増やすためにも統廃合を進め、園児が少ない幼稚園こそ早急に3年保育に移行すべきであるため。</li> <li>・豊受地区は少子高齢化が進んでいると感じ、地域事情を考慮しなければならないため。</li> </ul>	<p>適正配置の必要性を検討委員会へ報告し、再検討された提言に基づき、実質的な就園希望者の状況の検証と併せて適正配置の基準を設定し、適切に対応してまいりたいと考えております。</p>
4	<p>市立幼稚園の適正配置に当たっては、市内で考え方を統一するのが自然である。あかぼり・あずま幼稚園では、相当な広さを1園でカバーしており、旧伊勢崎の8園を統廃合し、ある程度広域的な利用とすることは十分に可能であることが実例で証明されている。</p>	<p>あかぼり・あずま幼稚園では、市町村合併以前から通園バスが運行されており、広域的な利用が可能となっております。</p> <p>適正配置の必要性を検討委員会へ報告し、再検討された提言に基づき適正配置の基準を設定し、適切に対応してまいりたいと考えております。</p>

### 4 「その他関連する事項」についての意見等

番号	意見等の要旨	
1	<p>統合後の幼稚園跡地の活用について、地域コミュニティ施設や学童施設に活用してほしい。</p>	<p>跡地利用は適正配置の検討に併せて、市全体の課題として検討してまいりたいと考えております。</p>



## 別記様式 4

番号	意見等の要旨	
2	<p>事務局の示した提言案に対して、検討委員が意見を述べる形のため、3年保育の実施が前提で議論が進んでいる。</p> <p>市立幼稚園の是非、次に3年保育の是非と順を追って議論・議決し、3年保育の実施について検討するべきではないか。</p>	<p>検討委員会では、市立幼稚園の3年保育の実施と適正配置、幼稚園と保育園との連携、幼稚園及び保育園と小学校との連携、その他就学前教育及び保育の充実に必要と認められることについて検討しておりますが、今回の提言は検討内容の一部です。</p>
3	<p>検討委員会の議事録をみると、途中で議論を打ち切られて、まとまりのない状況や、個人的な体験等が意見の裏づけとされている状況が多々見受けられる。客観的なデータ・情報に基づいた意見や、様々な意見をまとめて一定の結論を出すような取りまとめ方を期待する。</p>	<p>検討委員会は様々な方で構成されており、それぞれの立場から忌憚のない御意見を頂いております。</p> <p>検討委員会での協議がさらに充実するよう、努めてまいりたいと考えています。</p>
4	<p>会議録について、会議資料の公開を求める。</p>	<p>今後は可能な限り、公開に努めてまいりたいと考えております。</p>
5	<p>市立幼稚園の存在理由がほとんどなくなってきたが、市民にどのように説明するのか。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・新制度の開始に伴い、1号認定子どもの保育料は家庭の負担能力に応じて決まるようになり、低所得家庭にも幼児教育の機会が提供されるようになったため。</li> <li>・私立幼稚園では、バスを所有して交通手段のない家庭にも対応し、また、障害児等の受け入れにも応諾義務があるため。</li> <li>・私立幼稚園や保育園等でも情報収集の多角化が進んでおり、各園独自で保育内容の研究や小学校との交流を図っているため。</li> </ul>	<p>アンケート結果も踏まえ、今後の検討委員会での協議内容に注視してまいりたいと考えております。</p>
6	<p>保育内容に満足している、園を気に入っているなど、個人的な理由により市立幼稚園を希望する場合が考えられるが、この場合、私立施設より余計に市で負担しているコストを利用者が自己負担すべきではないか。</p>	<p>市立幼稚園は、平成27年4月から子ども・子育て支援新制度に基づき段階的に保育料が値上げされており、適正な利用者負担により管理運営に努めております。</p>
7	<p>《提言1》の《アンケート結果からの根拠》の「将来的に認定こども園への移行を想定した場合、まずは幼稚園として3年保育を実施することが前提条件になると考える。」を削除すべきである。</p> <p>認定こども園への移行は、制度的に2号認定の定員設定のみが要件であり、3歳児の定員設定は要件ではない。また、認定こども園への移行と同時でも3年保育は開始できるため、「まずは幼稚園として3年保育を実施すること」も</p>	<p>《アンケート結果からの根拠》については、検討委員会から教育委員会に提言をいただく際には表記しないものと考えております。</p>

## 別記様式 4

番号	意見等の要旨	
	<p>前提条件ではない。さらに、本市には待機児童はおらず、また将来的にも待機児童は想定されていないため、保育の受け皿を増やす理由はない。したがって、「認定こども園への移行を想定」する必要はない。</p>	
8	<p>アンケート結果を《提言1》の根拠として用いることに反対である。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・アンケート結果はあくまで調査時点での結果で、将来の長期間に渡る方向性を示す《提言1》の重要性を鑑みると、一時点の結果を根拠とするには不十分であるため。</li> <li>・回答者に提示されている判断材料の情報が少なく、理解度や知識に差異が大きくなってしまいうので、判断材料の提示の仕方によってアンケート結果が大きく変わる可能性が高いため。</li> <li>・アンケートの中で「3年保育が実施できず、10園全体では園児数は減少し続けています。」との説明文があり、3年保育を実施すれば園児数が適正数になるのではないかというバイアスが回答者にかかってしまうため。</li> <li>・選択肢の並べ方も、市にとって望ましい順に配置されており、後半に疲れてきた回答者にはバイアスがかってしまうため。</li> <li>・市立幼稚園の3年保育に賛成の者は、68.5%となっているが、3年保育を始めた場合に子供を通わせたい保護者は33.2%であり、3年保育賛成者のほとんどが差し迫ったニーズではないと読み取れるため、根拠としては33.2%のほうが適切であると考えため。</li> </ul>	<p>保護者アンケートは、検討委員会の判断材料の一つとして実施したものであり、設問内容、選択肢及びその順番等、全てにおいて会議に諮り決定したものです。</p> <p>また、アンケートは、行政分野の様々な計画や基本方針等を策定する際、市民参加の一つの方法として有効に活用されてきております。</p>
9	<p>園児数を増やしたいのであれば、午前9時から午後2時の保育時間では魅力が少ない。</p>	<p>市立幼稚園では、幼稚園管理規則に基づき、4時間を教育時間の標準としており、園児の年齢に適した運営を考えております。併せて、預かり保育の充実にも努めてまいりたいと考えております。</p>
10	<p>市内幼稚園の保育料統一に伴い、市立幼稚園のメリットを増やさないと厳しいものがある。</p>	<p>市立幼稚園では、学びの芽生えを大切に、「生きる力」の基礎を育む幼稚園教育を推進してまいりたいと考えております。</p>
11	<p>市立幼稚園の教育について、自由に育てるだけでなく、就学前の準備など何かしてほしい。</p>	<p>市立幼稚園では、学びの芽生えを大切に、「生きる力」の基礎を育む幼稚園教育を推進してまいりたいと考えております。</p>
12	<p>先生が園児の教育に専念できるように事務</p>	<p>市立幼稚園の運営に際しては、最小の経費で</p>



## 別記様式 4

番号	意見等の要旨	
	職員を配置してほしい。	最大の効果が得られるよう適材適所の人材配置に努めてまいりたいと考えております。
1 3	市立幼稚園に入園させたい。 遊びを中心とした伸び伸びとした教育の中で、自分の好きなことを見つけることや、幼児期にルールを守ること、社会性を身につけること、創意工夫などを学んでほしい。	市立幼稚園では、学びの芽生えを大切に、「生きる力」の基礎を育む幼稚園教育を推進してまいりたいと考えております。
1 4	小さいうちは親が子どもの面倒を見たほうがよいという考えもあるが、3年保育により自分の時間が確保でき、育児に余裕が持てる人が周囲には多い。また、母親同士で情報を交換できることは子育てに余裕もできる。 (同趣旨の意見等2件)	3年保育の相乗効果として育児に対するゆとりが生まれ、子育ての悩みの解消につながることを検討委員会へ報告し、再検討された提言に基づき、適切に対応してまいりたいと考えております。
1 5	幼稚園での子育て支援(未就園児・保護者のための「ふれあい広場」)は月に1回であるが、もう少し増やしたほうがよい。	未就園児やその保護者同士の交流や情報交換の場、また、相談窓口として十分機能するように努めてまいりたいと考えております。
1 6	3年保育は子供との触れ合いを大切に考え、パート勤務等しながら幼稚園に通わせている多くの母親にとって待ち望んでいたものであるが、こうした母親たちの実情を考えると保育料の値上げについては再検討してほしい。	子ども・子育て支援法に基づく子ども・子育て支援新制度が、平成27年4月からスタートし、一本化された幼稚園の保育料が決定されました。
1 7	教育研究所、県総合教育センター、東京福祉大学等の研究機関と連携し、母親への精神的な支援、子育て支援、発達障害児の積極的受け入れなど、成果を上げることを期待する。	アンケート結果も踏まえ、今後の検討委員会での協議内容に注視してまいりたいと考えております。
1 8	園児の募集に際しては「小学校との連携」など長期的な目で見えた市立幼稚園のよさをアピールしてほしい。	検討委員会の中で「幼稚園と保育園との連携」、「幼稚園及び保育園と小学校との円滑な連携」を協議しており、市全体の就学前教育・保育の充実を図りたいと考えております。
1 9	私立施設では収支状況が公開されているが、市立幼稚園では各園の収支状況が公開されていない。大きな市民負担に対して、市民が園ごとの成果や課題を検討する術がない。	市立幼稚園に係る決算や園の特色及び教育目標等についてはホームページで公開しておりますが、引き続き最小の経費で最大の効果が得られるよう努めてまいりたいと考えております。